第3回生駒市子ども子育て支援懇話会資料

	保護者からの 主な意見	現時点での生駒市の意見・方針
施設整備関連	園庭の広さについて	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎は2階建てにし、できるだけ敷地の端に配置するとともに、現在の運動場の段差を取ることで、できるだけ広い運動場を確保できるように工夫する。 ・約220名の在園児がいる市立保育園では、それほど広くない園庭でも小さい子が中庭で遊んだり、ふれあいながら上手く保育出来ている。
	工事期間中の南幼稚園移転の件	<ul style="list-style-type: none"> ・教室、トイレ、階段等は園児が使えるように改修する。 ・体験活動、プール、参観等は、南小学校やみなみ保育園と連携して出来るだけ続ける。 ・運動場は、南小学校と利用方法を協議中。みなみ保育園園庭も活用する。
クラス・職員関連	職員体制について	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児(3:1)1歳児(5:1)、2歳児(6:1)、3歳児(20:1)、4・5歳児(30:1)。 ・3歳児については複数担任とする。 ・保育士資格と幼稚園教諭免許の両方を持つ職員を配置する。
	クラス編制について	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児以上は長時間利用児と短時間利用児の混合クラスにする。クラス定員は、3歳児が25名、4・5歳児は30名。 ・長時間児も短時間児も就学前の児童を対象としているのは共通であり、混合クラスとすることにより幼稚園と保育園の良いところを活かしていく。 ・今後、幼稚園を希望する児童が減少し、保育園を希望する児童が増加した場合も想定すると、混合クラスの方が望ましい。 ・保育園と幼稚園の3歳児を比べると成長に差があるように思うが、保育園でも3歳から入園する児童もいて、最初は経験によって差が出てくるが、夏休みを過ぎる頃には差がなくなってくる。

第3回生駒市子ども子育て支援懇話会資料

	保護者からの 主な意見	現時点での生駒市の意見・方針
保育環境	短時間児の預かり保育について	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育については、現在の市立幼稚園と同じ形態となる。 ・夏休み等の長期休業中や午後5時までの預かりを希望する保護者は、生駒幼稚園の長時間保育を利用させていただきたい。
	長時間児と短時間児の変更について	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間利用児が短時間利用に変更する場合は全員受入可能。 ・短時間利用児が長時間利用を希望する場合は、保育要件の確認等が必要。
	感染症の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症が広がった場合は、幼稚園と同様にクラス閉鎖、園閉鎖等を行うが、その際、健康な長時間児については保護者が保育を必要とする状況に配慮し、保護者の同意のうえで保育を継続する。 ・(仮称)南こども園には、市立保育所と同様に看護職員が常駐する。
その他	PTAについて	<ul style="list-style-type: none"> ・南幼稚園PTAのような活動はみなみ保育園でも保護者が愛護会として活動されており、(仮称)南こども園となった後は、保護者同士の話し合いが必要となる。